

# 第20回認知神経リハビリテーション学会学術集会

## 脳の予測とインテンショナル・アーク

—自己経験の記憶／比較の回復に向けた認知プロセスの脱構築—

1日目 2019年10月26日(土)

9:00-9:40 受付

9:40-9:50 ■イントロダクション

『新たな冒険の旅をはじめ』

9:50-10:40 ■学会長講演

『認知プロセスの脱構築—過去と未来をシミュレーション(予測)する記憶』

講師: 園田義顕(高知医療学院)

10:50-12:20 ■特別講演 I

『霊長類大脳皮質における記憶想起の情報処理メカニズム』

講師: 竹田真己(高知工科大学総合研究所脳コミュニケーション研究センター)

司会: 園田義顕

13:10-14:00 ■クリニカル・ディスカッション①(第1会場)

『子どもの身体の構築と再構築』

話題提供/症例呈示: 後藤晴美(訪問看護ステーションそら)

司会: 木村正剛(北海道立子ども総合医療・療育センター)

■クリニカル・ディスカッション②(第2会場)

『下肢骨軟部腫瘍術後の支持機能の回復—身体表象の再構築—』

話題提供/症例呈示: 渡辺典子(国立がん研究センター中央病院)

司会: 金森宏(みなみ野病院)

■クリニカル・セミナー①(第3会場)

『両手の行為の神経科学と情報メカニズムからみた観察と介入』

講師: 平谷尚大(高知医療学院)

司会: 佐藤正俊(京都民医連中央病院)

14:10-15:00 ■クリニカル・ディスカッション③(第1会場)

『「重さ」をもった手をどのように認識するのか—視床出血を呈した症例を通じた考察—』

話題提供/症例呈示: 米谷和音(河北総合病院)

司会: 奥埜博之(摂南総合病院)

■クリニカル・ディスカッション④(第2会場)

『多感覚性の訓練により両手でのリーチングが改善した左片麻痺症例—身体表象からの一考察—』

話題提供/症例呈示: 安田真章(脳梗塞リハビリセンター)

司会: 三上恭平(登戸内科・脳神経クリニック)

■クリニカル・セミナー②(第3会場)

『両足の行為の神経科学と情報メカニズムからみた観察と介入』

講師: 濱田裕幸(文京学院大学)

司会: 荻野敏(国府病院)

15:10-16:00 ■クリニカル・ディスカッション⑤(第1会場)

『治療展開に必要な遂行機能の考え方』

話題提供/症例呈示: 川崎翼(了徳寺大学)

司会: 信迫悟志(畿央大学ニューロリハビリテーションセンター)

■クリニカル・ディスカッション⑥(第2会場)

『パーキンソン病患者の行為としての歩行を探索する—側方移動時に顕著な不安定さを呈した症例を通して—』

話題提供/症例呈示: 西島勇(沼津リハビリテーション病院)

司会: 徳原孝夫(那須脳神経外科病院)

■クリニカル・セミナー③（第3会場）

『言語行為の神経科学と情報メカニズムからみた観察と介入』

講師：稲川良（水戸メディカルカレッジ）

司会：木川田雅子（東北医科薬科大学病院）

16:10-17:00 ■クリニカル・ディスカッション⑦（第1会場）

『患者の言葉は効果検証の対象になり得るか ー質的研究におけるKHコーダーとSCATの運用を通してー』

話題提供/症例呈示：後藤圭介（東京女子医科大学東医療センター）

司会：江草典政（島根大学医学部附属病院）

■クリニカル・ディスカッション⑧（第2会場）

『左半球損傷患者の病態解釈を深める ー感覚情報変換と運動の予測制御からみた失行症ー』

話題提供/症例呈示：石橋凜太郎（村田病院）

司会：高橋昭彦（子どもの発達・学習を支援するリハビリテーション研究所）

■クリニカル・セミナー④（第3会場）

『摂食・嚥下行為の神経科学と情報メカニズムからみた観察と介入』

講師：玉木義規（甲南病院）

司会：本田慎一郎（（有）青い鳥コミュニティー）

17:15-18:15 ■特別企画：沖田一彦追悼シンポジウム

1. 論文／業績解説：

大島埴生（岡山リハビリテーション病院）

2. ペルフェッティとの出会いの頃：

小池美納（日伊通訳）

3. シンポジウム：『～思考の循環こそが真の科学的態度である～』

シンポジスト：安藤努（原病院）

内田成男（富士リハビリテーション専門学校）

森岡周（畿央大学）

2日目 2019年10月27日（日）

9:00 受付

9:20-10:20 ■一般演題発表（口述）

第1会場 座長：村上仁之（姫路獨協大学）

第2会場 座長：河野正志（村田病院）

第3会場 座長：山手千里（東京衛生学園専門学校）

10:30-12:50 ■一般演題発表（ポスター）（第4会場）

10:30-11:40 奇数番号

11:40-12:50 偶数番号

13:40-14:50 ■特別講演Ⅱ

『円環という罫—技術と行為のインテンショナル・アーク』

講師：稲垣諭（東洋大学・教授）

司会：池田由美（首都大学東京）

15:00-15:30 ■会長講演

『21世紀の認知神経リハビリテーション—行為のリアリティとアクチュアリティの回復を目指す』

講師：宮本省三（高知医療学院）

第20回認知神経リハビリテーション学会学術集会

脳の予測とインテンショナル・アーク  
—自己経験の記憶／比較の回復に向けた認知プロセスの脱構築—

10月26日(土)			
開始	終了	時間	会場
			第1会場 (メインホール)
			第2会場 (視聴覚室)
			第3会場 (教室)
			第4会場 (ポスター会場 1・2・3)
9:00	9:40		受付
9:40	9:50	10	イントロダクション: 『新たな冒険の旅をはじめよう』
9:50	10:40	50	学会長講演: 園田義顕 (高知医療学院) 『認知プロセスの脱構築—過去と未来をシミュレーション (予測) する記憶』
10:50	12:20	90	特別講演 I: 竹田真己 (高知工科大学総合研究所脳コミュニケーション研究センター) 『霊長類大脳皮質における記憶想起の情報処理メカニズム』 司会: 園田義顕
昼休み			
13:10	14:00	50	クリニカル・ディスカッション①: 『子どもの身体の構築と再構築』 講師: 後藤晴美 (訪問看護ステーションそら) 司会: 木村正剛 (北海道立子ども総合医療・療育センター)
13:10	14:00	50	クリニカル・ディスカッション②: 『下肢骨軟部腫瘍術後の支持機能の回復—身体表象の再構築—』 講師: 渡辺典子 (国立がん研究センター中央病院) 司会: 金森宏 (みなみ野病院)
13:10	14:00	50	クリニカル・セミナー①: 『両手の行為の神経科学と情報メカニズムからみた観察と介入』 講師: 平谷尚大 (高知医療学院) 司会: 佐藤正俊 (京都府民医連中央病院)
14:10	15:00	50	クリニカル・ディスカッション③: 『「重さ」をもった手どのように認識するのか—視床出血を呈した症例を通して考察—』 講師: 米谷和音 (河北総合病院) 司会: 奥埜博之 (摂南総合病院)
14:10	15:00	50	クリニカル・ディスカッション④: 『多感覚性の訓練により両手でのリーチングが改善した左片麻痺症例—身体表象からの一考察—』 講師: 安田真章 (脳梗塞リハビリセンター) 司会: 三上恭平 (登戸内科・脳神経クリニック)
14:10	15:00	50	クリニカル・セミナー②: 『両足の行為の神経科学と情報メカニズムからみた観察と介入』 講師: 濱田裕幸 (文京学院大学) 司会: 荻野敏 (国府病院)
15:10	16:00	50	クリニカル・ディスカッション⑤: 『治療展開に必要な遂行機能の考え方』 講師: 川崎翼 (了徳寺大学) 司会: 信迫悟志 (畿央大学ニューロリハビリテーションセンター)
15:10	16:00	50	クリニカル・ディスカッション⑥: 『パーキンソン病患者の行為としての歩行を探索する—側方移動時に顕著な不安定さを呈した症例を通して—』 講師: 西島勇 (沼津リハビリテーション病院) 司会: 徳原孝夫 (那須脳神経外科病院)
15:10	16:00	50	クリニカル・セミナー③: 『言語行為の神経科学と情報メカニズムからみた観察と介入』 講師: 福川良 (水戸メディカルカレッジ) 司会: 木川田雅子 (東北医科薬科大学病院)
16:10	17:00	50	クリニカル・ディスカッション⑦: 『患者の言葉は効果検証の対象になり得るか—質的研究におけるKHコーダーとSCATの運用を通して—』 講師: 後藤圭介 (東京女子医科大学東医療センター) 司会: 江草典政 (鳥根大学医学部附属病院)
16:10	17:00	50	クリニカル・ディスカッション⑧: 『左半球損傷患者の病態解釈を深める—感覚情報変換と運動の予測制御からみた失行症—』 講師: 石橋潔太郎 (村田病院) 司会: 高橋昭彦 (子どもの発達・学習を支援するリハビリテーション研究所)
16:10	17:00	50	クリニカル・セミナー④: 『摂食・嚥下行為の神経科学と情報メカニズムからみた観察と介入』 講師: 玉木義規 (甲南病院) 司会: 本田慎一郎 ((有)青い鳥コミュニティー)
17:15	18:15	60	特別企画: 沖田一彦追悼シンポジウム 1. 論文/業績解説: 大島埜生 (岡山リハビリテーション病院) 2. ベルフェッティとの出会いの頃: 小池美納 (日伊通訳) 3. シンポジウム: 『～思考の循環こそが真の科学的態度である～』 シンポジスト: 安藤努 (原病院), 内田成男 (富士リハビリテーション専門学校), 森岡周 (畿央大学)
19:15			レセプション受付
19:30			レセプション
10月27日(日)			
9:00			受付
9:20	10:20	60	一般演題発表 (口述) 10分発表5分質疑×4演題 座長: 村上仁之 (姫路獨協大学)
9:20	10:20	60	一般演題発表 (口述) 10分発表5分質疑×4演題 座長: 河野正志 (村田病院)
9:20	10:20	60	一般演題発表 (口述) 10分発表5分質疑×4演題 座長: 山手千里 (東京衛生学園専門学校)
10:30	11:40	70	一般演題発表 (ポスター) 奇数
11:40	12:50	70	一般演題発表 (ポスター) 偶数
昼休み			
13:40	14:50	70	特別講演 II: 稲垣諭 (東洋大学・教授) 『円環という異—技術と行為のインテンショナル・アーク』 司会: 池田由美 (首都大学東京)
15:00	15:30	30	会長講演: 宮本省三 (高知医療学院) 『21世紀の認知神経リハビリテーション—行為のリアリティとアクチュアリティの回復を目指す』
15:30			終了